

登米市教育委員会会議録

会議の名称	平成24年第10回登米市教育委員会8月定例会議	
開催日時	平成24年8月23日(木)	
	午後2時00分 開会	
	午後4時10分 閉会	
開催場所	登米市中田庁舎 教育長室	
委員長氏名	委員長	畠山信弘
出席委員氏名	委員長	畠山信弘
	委員長職務代行者	久保泰宏
	委員	橋 智法
	委員	小野寺範子
	教育長	片倉敏明
欠席委員	なし	
傍聴者	なし	
事務局職員氏名	教育次長(学校教育担当)	佐藤賀津雄
	教育次長(社会教育担当)	鈴木 均
	学校教育管理監	萩田隆児
	参事兼学校教育課長	佐藤裕孝
	生き生き学校支援室長	千葉 整
	参事兼生涯学習課長	本宮秀年
	参事兼教育総務課長	千葉幸弘
書記	教育総務課 副参事兼課長補佐	千葉祐宏
議題	報告第16号	一般事務報告について
	議案第18号	上杉奨学金貸付基金管理運営規則の一部を改正する規則について
	議案第19号	登米市障害児就学指導委員会委員の任命について
会議結果	報告第16号	承認
	議案第18号	決定
	議案第19号	決定

議題・ 発言・ 結果	島山委員長	<p>開会（午後２時００分）</p> <p>教育委員会議の開会を宣言し、本日の議事日程に基づき会議を開く旨を告げる。</p>
	島山委員長	<p>前回の会議録の承認を求めます。</p>
	千葉参事兼 教育総務課 長	<p>（7月20日定例会議の会議録を朗読）</p>
	島山委員長	<p>会議録の朗読が終わりました。この内容についてご異議ありませんか。</p>
		<p>（「なし」の声あり）</p>
	島山委員長	<p>ご異議がないものと認め、朗読のとおり承認することとします。</p>
	島山委員長	<p>会議録署名委員の指名を行います。</p>
	島山委員長	<p>委員長から指名してよろしいでしょうか。</p>
		<p>（「はい」の声あり）</p>
	島山委員長	<p>ご異議がないようですので、1番久保委員、2番橋委員にお願いします。</p>
	島山委員長	<p>日程第1、報告第16号「一般事務報告について」を上程します。「教育長の一般事務報告について」教育長から報告をお願いします。</p>
	片倉教育長	<p>（一般事務報告について、平成24年7月20日から8月22日までの会議・行事出席状況やその概要などについて、別紙資料に基づき報告する）</p>
	島山委員長	<p>教育長の一般事務報告が終わりました。この件についてご質問ありませんか。</p>
	島山委員長	<p>青少年ピースフォーラムの事後活用はどのように行い、青少年への啓発を図っているのでしょうか。</p>
	片倉教育長	<p>私も初めて参加したのですが、青少年ピースフォーラムは、全国から</p>

		<p>中学生等が集まり、戦争と平和について考えるという行事で、登米市からは5つの中学校から、生徒会役員各1名ずつ計5名が参加しました。参加した中学生は、事前に戦争や原爆などについて研修を受けて参加しています。</p> <p>長崎市には、原爆資料館などの施設があるわけですが、そこにピースボランティアと呼ばれる方々がいて、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さを伝えるなど、原爆について風化させない活動に取り組んでいます。この方々との交流や体験を通して原爆や戦争、平和について考え、学ぶことができました。実は今夜、事後研修会を行うことにしておりますし、さらに今後、学校ごとに、参加した生徒から報告会を何らかの機会に行ってもらうように考えております。</p> <p>私が感じたことは、長崎市の原爆を風化させないための取り組みがしっかりしているなと思いました。例えば、幼稚園でも4歳、5歳の子供たちに対してさえ、戦争や原爆についてそれなりの教育を行っており、やはり、直接原爆の被害を受けた地域だけに組織的な取り組みができていいるなと感心しました。これを見て、私たちも、東日本大震災について、風化させないように伝えていく取り組みをしっかりとしなければならいと改めて感じました。</p>
	<p>畠山委員長</p>	<p>広島は対象ではないのですか。</p>
	<p>片倉教育長</p>	<p>こうした中学生等を対象とした活動は、長崎の方がしっかりしているということです。広島でも何らかの取り組みは行っていると思いますが、これまでと同様に長崎に出席しました。宮城県では、美里町と気仙沼市も参加していました。全国的にみると、九州や沖縄といった戦争の被害が大きかった所から多く参加しているようです。</p>
	<p>久保委員</p>	<p>3日間にわたり、幼稚園の施設訪問を行っているようですが、共通する問題や課題がありましたら教えてください。</p>
	<p>片倉教育長</p>	<p>今年、幼稚園と学校へ技士の兼務発令をしておりますが、幼稚園は女性の多い職場ですので、草刈りなどの外作業や、文書の配送などをしてもらい、助かっているという話でした。一方、施設が老朽化しているので、修繕等をお願いしたいという要望がありました。園の状況は、それぞれ違いますが、詳しい説明を受けてきました。</p>
	<p>久保委員</p>	<p>関連してですが、前年度は幼稚園長の兼務が多かったと思いますが、本年度は縮小されたように思います。その影響はないのですか。</p>

片倉教育長	<p>現在も園長兼務は行っています。最初は、兼務について戸惑いがあったようですが、曜日を決めて対応するなど、園長兼務もスムーズに行われるようになったと思います。</p>
島山委員長	<p>少子化とは言え、公立幼稚園の入園者が、だんだん保育所や私立幼稚園に移動しているのではないかと思います。以前はたくさんの幼児がいましたが、今は大分少なくなっています。幼児が少なくなれば、先生の数も減っていきます。</p> <p>このような状況を踏まえ、今後の幼稚園の対策をどのように考えますか。このまま、子どもの減少に見合った体制にするのか、保幼一体化のような体制にするのか。</p>
片倉教育長	<p>保幼一体化は、今後考えていかななくてはならないと思います。手始めに、一町域に1つずつの保育所と幼稚園がある所などでは、施設の改築時期に合わせて一体化に踏み切るとか、両方の機能をもった施設の検討は当然必要だと思います。今後構想を一層深めていきたいと思います。</p>
久保委員	<p>豊里小中学校に全国から視察に来ているようですが、全国的に小中一貫校は伸びているのでしょうか。また、視察の際、豊里小中学校の小中一貫教育の良い所と課題などについて、どのように説明したのですか。</p>
片倉教育長	<p>市内には、小中の一貫校である豊里小中学校と、小中の連携教育を一層強く実践している新田小学校、中学校があります。</p> <p>豊里小中は特区から始まりましたので、教育課程を独自に行っています。例えば、小学校の四年生から英語の授業を行っています。しかし、最近増えているのは、新田小学校、中学校のような連携校のようです。これは、教育課程を特別に組まなくても、今示されているもので対応できるからで、例えば英語も小学校から入ってくるようになりました。これまでは、小学校と中学校の溝やギャップがありましたが、それらを取り除く努力が国から示されて来ていますので、むしろ、新田小中のような形の一貫教育をより強くしていこうという取り組みが全国的に広がっています。例えば、横浜市では、本年度から市内全部の小中学校で、一貫連携教育を進めていくということです。予算的な面でも、校舎一体型ですと新たに校舎を建てなければなりません、小中の連携教育ですと、現在の校舎を使って行うことができるので、費用もかからないというのが、横浜市の考え方です。</p> <p>登米市においても、一貫教育については、教師の授業の相互乗り入れや、行事の合同開催などにより、新田小中のような連携教育方式で対応できるものと考えております。</p>

	小野寺委員	幼稚園で3歳児を入れているのは、石越と豊里ですが、他の幼稚園にも入れる考えはないのでしょうか。教室も余っており、入園児の数も減っている状況なのですが。
	久保委員	その話は、前も出ていました。市の方針として全幼稚園を3年保育にすることになったと記憶しています。いつから取り組むのか、聞いたことがあります。
	片倉教育長	検討したいと思います。児童数の推移とかいろいろなことも考えると、3歳児からの募集も考えなければならない課題だと思います。
	畠山委員長	これは大きな課題だと思います。保育室やトイレなど設備的な問題もあり、予算もからんできます。
	片倉教育長	確かに進めるうえでは、施設・設備の問題、教員の人数の問題、保育所との兼ね合いなども考えなければなりません。いずれにしても、早めに検討したいと思います。
	畠山委員長	方針として、幼稚園の方向性と一緒を考えていくことが必要だと思います。例えば、保育所と一体化していくのか、残すのか、縮小するのかなど、地域性によっても違うと思いますが。
	片倉教育長	これまで、3年保育に至らなかったのは、もしかすると、保幼一体化を考え、あえて進めなかったということもあるかもしれません。
	畠山委員長	ただ、保幼一体化を検討する場合、教育委員会と市民生活部でどちらが主体的に進めていくか、課長同士で方向性を話し合うべきだと思います。
	片倉教育長	これは、課題なので、実務レベルでまとめて、後で提案できるようにしたいと思います。
	橘委員	報告の中にはなかったのですが、佐沼小学校の工事の進捗状況について、教えてください。
	畠山委員長	全国学力検査の結果が出たのではないのでしょうか。お知らせいただきたいと思います。

片倉教育長	これらの件は、関連事項もありますので、後ほどお知らせをしたいと思います 思います
畠山委員長	その他、ご質問はありませんか。 (「なし」の声あり)
畠山委員長	ご質問がないようですので、報告第16号「一般事務報告について」 は、報告のとおり承認することにご異議ありませんか。 (「異議なし」の声あり)
畠山委員長	ご異議がないようですので、日程第1、報告第16号「一般事務報告 について」は、報告のとおり承認することとします。 暫時休憩します。 (午後3時22分から午後3時35分まで休憩)
畠山委員長	休憩前に引き続き、会議を開きます。
畠山委員長	日程第2、議案第18号「上杉奨学金貸付基金管理運営規則の一部を 改正する規則について」 を上程します。 説明を求めます。
片倉教育長	(議案を朗読)
千葉参事兼 教育総務課 長	(議案内容を別紙資料に基づき説明)
畠山委員長	説明が終わりました。議案第18号「上杉奨学金貸付基金管理運営 規則の一部を改正する規則について」、ご質問ありませんか。
畠山委員長	今回、連帯保証人という言葉が入りましたので、選考会の時にしっかり 確認等をしてほしいと思います。
小野寺委員	いままで借りていた方が、返還方法を月賦に変更するため、返還契約 書を書き換えることはできるのでしょうか。
千葉参事兼	上杉奨学金は、24年度から償還が始まりますので、償還方法に月賦

<p>教育総務課長 島山委員長</p>	<p>も加えました。当初の返還方法を変更することも可能になります。</p> <p>これまで借りていた方は、書類の書き換えが必要ですか。</p>
<p>千葉参事兼教育総務課長 橘委員</p>	<p>必要ありません。これまでの書類で有効です。新たに借り受ける方には、新しい書類で手続きをしていただきます。</p> <p>第4条第2号の文中のカッコ書きの「(履修する課程の修業年限が6年であるものに限る)」は、薬学部の説明でしょうか、医学部、歯学部、薬学部の説明でしょうか。</p>
<p>千葉参事兼教育総務課長 島山委員長</p>	<p>これは、薬学部の説明になります。</p> <p>その他、ご質問はありませんか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>
<p>島山委員長</p>	<p>ご質問がないようですので、議案第18号「上杉奨学金貸付基金管理運営規則の一部を改正する規則について」は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p>
<p>島山委員長</p>	<p>ご異議がないようですので、日程第2、議案第18号「上杉奨学金貸付基金管理運営規則の一部を改正する規則について」は、原案のとおり決定することとします。</p>
<p>島山委員長</p>	<p>日程第3、議案第19号「登米市障害児就学指導委員会委員の任命について」を上程します。</p> <p>説明を求めます。</p>
<p>片倉教育長</p>	<p>(議案を朗読)</p>
<p>佐藤参事兼学校教育課長</p>	<p>(議案内容を別紙資料に基づき説明)</p>
<p>島山委員長</p>	<p>説明が終わりました。議案第19号「登米市障害児就学指導委員会委員の任命について」、ご質問ありませんか。</p>

		<p>(「なし」の声あり)</p>
	島山委員長	<p>ご質問がないようですので、議案第19号「登米市障害児就学指導委員会委員の任命について」は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。</p>
		<p>(「異議なし」の声あり)</p>
	島山委員長	<p>ご異議がないようですので、日程第3、議案第19号「登米市障害児就学指導委員会委員の任命について」は、原案のとおり決定することとします。</p>
	島山委員長	<p>次回の会議の日程は、平成24年9月4日(火)午後2時00分から行うことにご異議ありませんか。</p>
		<p>(「異議なし」の声あり)</p>
	島山委員長	<p>ご異議がないようですので、次回の会議の日程は、平成24年9月4日(火)午後2時00分から行うことに決定することにします。</p>
		<p>閉会 (午後4時10分)</p>